

教科	こころとからだの理解	学科・学年	社会福祉科・2年	単位数	2単位
目標	1 高齢者に多い症状と病気についての基礎的な知識を習得し、自立生活を支援する介護実践に活用できる能力を身につける。 2 障害についての基礎的な知識を習得するとともに、生活支援に必要な知識と心理的・社会的ケアについて、理解を深める。				
評価方法	・定期テスト（中間・期末・学年末） ・授業を受ける姿勢、ノートやプリントの状況、課題の提出状況 ・授業の出席状況 などから総合的に評価する。				
評価観点	【関心・意欲・態度】 高齢者に多い症状と病気、障害について関心を持ち、学習内容理解のために意欲的に取り組む態度を身につけている。 【思考・判断】 高齢者に多い症状と病気、障害について自ら思考を深め、適切な介護方法との関連性について考えることができる。 【技能・表現】 学習内容については、専門用語を用いて適切に表現することができる。 【知識・理解】 高齢者に多い症状と病気、障害についての知識を身につけ、日常生活との関連性や介護技術との関連性を理解している。				
使用教科書	発達と老化の理解（メヂカルフレンド社）、障害の理解（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	オリエンテーション 《発達と老化の理解》 1 高齢者に多い症状・病気	☐ シラバスの活用の仕方を理解する ☐ 『こころとからだの理解』の学習の仕方を理解する ☐ 高齢期における病気の割合を理解する ☐ 老年症候群・廃用症候群を理解する	・授業用ファイルの作成 ☐ ・授業プリント作成 ☐		
5		☐ 高齢者に生じやすい症状や病気について理解する ☐ 生活習慣病について理解する	・中間テスト [点]		
6	2 高齢者に多い病気と日常生活での留意点	☐ 糖尿病について理解する ☐ 動脈硬化と心筋梗塞について理解する ☐ 高血圧・脳卒中について理解する	・授業プリント作成 ☐ ・小テスト [点]		
7		☐ 大腿骨頸部骨折・骨粗鬆症について理解する ☐ 肺炎について理解する	・期末テスト [点]		
反省	自己評価 A ☐ B ☐ C ☐				

9	3 要介護高齢者の介護で出会う病気	☐ それぞれの病気の病態生理・症状・治療等について理解する ☐ 脳・神経疾患 ☐ 心疾患	・授業プリント作成 ☐
10		☐ 代謝性疾患 ☐ がん ☐ 骨・筋肉疾患 ☐ 消化器疾患	・中間テスト [点]
11		☐ 感染症 ☐ 泌尿器疾患 ☐ 呼吸器疾患 ☐ 精神疾患	・授業プリント作成 ☐ ・小テスト [点]
12	《障害の理解》 1 障害の基礎的理解 2 肢体不自由のある人の理解	☐ 障害の概念を理解する ☐ 肢体不自由についての基礎的知識を身につける ☐ 肢体不自由のある人の心理を理解する ☐ 日常生活支援を理解する	・期末テスト [点]
反省	自己評価 A ☐ B ☐ C ☐		
1	3 内部障害のある人の理解	☐ 内部障害の定義と動向を理解する ☐ 心機能障害を理解する	・授業プリント作成 ☐
2		☐ 呼吸機能障害を理解する ☐ 腎機能障害を理解する	・学年末テスト [点]
3		☐ 排泄機能障害を理解する	・授業プリント作成 ☐ ・ビデオ視聴 ☐ ・小テスト [点]
反省	自己評価 A ☐ B ☐ C ☐		